

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 蓼崎本町運送株式会社

自動点呼「e点呼セルフ」がもたらす現場変革 — DXと安全管理の両立 —

山梨県内に3つの倉庫拠点を設け、保管・入出庫のトータルサービスを提供する同社は創業100年を迎えました。地域と人々を結び、未来を支える存在として「絆」を大切にしています。国際的視野を持って行動しつつ伝統を守りながら、新しい未来を創造。次世代の子供たちのために、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出す企業です。

製品導入による 効果・感想 法令遵守と 確実な点呼体制の実現

導入前の最大の課題は、新システムに適した運用体制の構築と点呼計画の策定でした。準備段階では試行錯誤もありましたが、ドライバーの協力的な姿勢に支えられ、人的なトラブルは特に発生しませんでした。導入後は、ネットワークトラブルや機器接続時のエラーなど、環境的な要因により点呼が実施できない場面もありました。また、点呼計画の不備による運用上の課題も発生しましたが、東海電子のサポートを受けながら、その都度改善を重ねています。

それでも導入の効果は明らかで、大きな成果を実感しています。特に、法令に準拠した点呼が、自動で確実に実施できる体制が整ったことが大きく、当社の DX 推進における強みとなりました。今後も継続的な改善を重ねながら、その効果を最大限に引き出していく方針です。

ご利用機器



- IC運転免許証リーダー

ALC-Mobile II

ALC-Mobile III



導入のきっかけ 点呼業務の効率化から 始まったDX

当社は DX 推進の一環として、点呼業務の効率化に着目しました。国土交通省により自動点呼システムの使用が認められたことを受け、これを新たな取り組みに挑戦する好機と捉えました。以前からアルコール検知器で取引のあった東海電子が、自動点呼の認可を取得したことを知り、同社の「e 点呼セルフ」の導入を決定しました。



操作性について (ドライバー) フォローアップ体制により 定着した運用

当社は比較的若いドライバーが多く、e 点呼セルフ導入に対して反発や否定的な反応はありませんでした。少人数体制であり、情報を共有しやすい環境も良かったのかもしれません。しかし運用開始直後には、機器特有のエラーや操作方法の不明点により、点呼が中断してしまうケースが見受けられ、一部のドライバーからネガティブな声があがったこともあります。

そこで対策として、電話でのフォローや必要に応じて現地へ行き直接サポートを行い、ドライバーが確実に点呼を完了し出発できる体制を構築しました。特に夜間出発が多い当社にとって、迅速な対応は欠かせません。運用を続けていく中で、システムや操作に慣れた今ではネガティブな声もなくなりました。結果として、全体の点呼の流れがスムーズになり、安定した運用ができます。

今後は、発生しうるトラブルへの対応をさらに効率化し、ドライバー・管理者双方にとって、より負担の少ない運用を目指していきたいと考えています。

User Report

ユーザーレポート

—〇の証明—

■ 菩崎本町運送株式会社

安全への
取り組み

技術と意識で築く総合的な安全管理

当社では、アルコール検知器の活用に加え、多角的な安全対策を実施しています。車両面では、先進安全自動車(ASV)技術を搭載した車両を積極的に導入し、最新の安全技術による事故防止に努めています。また、社内の安全意識向上にも注力しており、年1回「安全推進大会」を開催しています。多様な業種の従業員が一堂に会し、安全に関する学習や事例発表を行うことで、安全意識の再確認と向上を図っています。これらの取り組みにより、アルコールチェックにとどまらず、車両の安全性向上と人の意識改革の両面から、総合的な安全確保を実現しています。



独自の活動

環境配慮と健康経営への 継続的な取組

当社では、環境保護と従業員の健康促進を柱とした独自の取り組みを進めています。

環境面では、長年にわたりグリーン経営認証を取得し、環境に配慮した経営を継続しています。加えて、グループ会社の農業法人と連携し、畑にバイオ炭を埋設して二酸化炭素の吸収量を高めるプロジェクトにも取り組み、カーボンクレジットやカーボンオフセットに小規模ながら貢献しています。健康面では、2025年4月に「健康宣言」を実施し、従業員の健康づくりに組織として取り組む姿勢を明確にしました。具体的な施策を定め、従業員の健康増進を継続的に支援しています。これらの活動を通じて、環境への責任と従業員の健康・福祉の向上を両立し、企業価値の向上を目指しています。

今後の展望

安全と環境を両立する 持続的成長

当社は、e点呼セルフの導入にとどまらず、今後もDX化を積極的に推進していきます。デジタル化を単なる効率化手段としてではなく、企業全体の成長と変革につながる取り組みとして捉えています。併せて、安全対策と環境保護にも一層注力し、最新技術の導入や従業員教育の強化を通じて、より高度な安全管理体制の構築を目指します。DX化・安全性向上・環境保護の三本柱を軸に、新しい時代の要請に応えるべく持続可能な事業運営のモデルケースとなるとともに、運輸業界において、そして社会から信頼される企業として、これからも進化を続けてまいります。

**Nirasaki Honcho
Transportation**

東海電子
への要望

業界DXを支える 継続的支援への期待

東海電子の製品とサービスは、運輸業界のDX化と安全性向上において極めて重要な役割を担っていると感じています。e点呼セルフ導入以降、迅速かつ丁寧なサポートを提供いただいていることに、心より感謝しています。今後はさらに需要が高まることが予想されますが、技術的な課題や運用上の悩みに対し、引き続き手厚いサポートを期待しています。

取材ご協力

菩崎本町運送株式会社

藤巻 祐介 様



住所：〒407-0024 山梨県菩崎市本町4-4-23

URL：https://www.nirasaki.co.jp/